

久米島の宝物を未来へつなぐ 「久米島みらいサミット」

久米島観光の日(球美の日)とは？

久米島がかつて“球美(くみ)”と呼ばれていたことから、9月3日を「久米島観光の日(球美の日)」と宣言。久米島観光について島全体で考える日としています！

第1部：球美の日特別講演 沖縄県における海外旅行者の動向と久米島の可能性

沖縄観光コンベンションビューローの照屋美奈子氏にご登壇いただき、各国・地域ごとの旅行スタイルや傾向についてお話しいただきました。海外旅行者のニーズを知り、今後のインバウンド受入拡大に向けて久米島が取り組むべきことを考える機会となりました。

第2部：パネルディスカッション 久米島観光の未来

照屋美奈子氏、(株)Endemic Garden Hの仲本いつ美氏、(株)JAL JTAセールスの中根雅典氏をお迎えし、ENリゾート久米島イーブビーチホテルの渚之上尚己氏の進行のもと、島外から見た久米島の魅力や観光のあり方についてパネルディスカッションを行い、それぞれの視点から多様なご意見をいただき、これからの久米島観光について考える時間となりました。



見て・学んで・体験しよう

上江洲家住宅の特別開館、米島酒造の工場見学、ホテルの光と星空を楽しむ見学会を実施。島民の参加が大半を占め、島の歴史や産業に触れながら、久米島の観光資源が持つ魅力や価値について学びました。

島の宝物めぐりバスツアー

普段の暮らしの中では訪れる機会の少ない場所を巡り、ガイドの解説とともに、久米島の豊かな自然や歴史、文化に触れました。知っているようで知らなかった島の姿や、地域に残る物語に触れる機会となりました。

球美の日スタンプラリー

博物館、紬の里ユイマール館、ホテル館、ウミガメ館を無料開放し、各施設を巡ってミッションに挑戦。クリアした方にはイベント限定グッズをプレゼントし、楽しみながら島の文化や自然への理解を深めてもらいました。

沖縄国際大学「スカイチーム」が久米島で視察研修

航空業界を目指す学生を中心とした沖縄国際大学の「スカイチーム」が久米島視察研修を実施し、9月4日にその研修の様子を桃原町長へ報告しました。他大学や専門学校生も含め約20名が所属する本団体は、離島振興と航空事業の関わりを体感するため、昨年に続き久米島を訪問しています。

今回の研修では、久米島空港での航空機取扱業務をはじめ、博物館やユイマール館での歴史・文化の学び、海洋深層水研究所や地元企業、観光協会の見学など、多岐にわたる島内の施設を巡りました。

参加した学生からは「天候の影響もありましたが、産業や文化の学びが非常に充実していました。知恵次第で可能性が広がる久米島の魅力を実感しました。今回行けなかった『はての浜』には、来年卒業生としてリベンジしたいです！」との声が寄せられました。

地域の温かいご協力のもと、豊かな自然と多様な産業に触れ、将来の航空業界を担う学生たちにとって実り多い研修となりました。

